



K中通信

学校だより 8号
令和2年10月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuzawa/>



一枚の紅葉かつ散る 静かさよ

高浜虚子

校長 星野 久美子

「紅葉かつ散る」という秋の季語は、紅葉したままの木の葉が散ることを表します。紅葉した一枚の木の葉が落ちてきた。同じ木なのに、紅葉したまま枝にとどまる葉もあれば、散っていく葉もある。いろいろな木の葉の存在に、思いを巡らす静かな秋の日です。

感染症防止のため様々な制約がある中でしたが、9月後半から10月上旬にかけて三学年ともに校外学習を実施することができました。校外学習は実際に行うまでに知識を深める事前学習や、事前学習と実際の体験を関連付け、学びを深める事後学習が大切です。本校では、総合的な学習の時間を軸に、教科横断的に事前・事後学習を行っています。

三年生は「ロイロノート・スクール」を使用して、事前学習及び実際に東北で体験したことをまとめ、修学旅行新聞を作成しています。作成された新聞は、それぞれの生徒で強く印象に残った出来事が違うものの、この二泊三日が一人ひとりにとってかけがえのないものであったことを強く感じさせてくれます。

二年生は事後学習として、「清里自然教室を横浜市の中学校に提案する」という設定のプレゼンテーションを班で作成し、10月19日はどのクラスも発表会を行いました。今後は記録した動画を見ながら「資料はシンプルで見やすいか」「図表やデータの提示など説得力があるか」「プレゼンテーションの組み立ては適切か」などの評価規準に照らして評価し合います。発表会には教職員だけでなく、修学旅行の添乗を担当された近畿日本ツーリストの社員の方も参加しました。プロの目で生徒の提案を評価していただくとともに、ご自身がこの職業についての理由などもお話していただくことで、職業理解の一環としても良い機会となりました。

例年であれば、授業参観などで上記のような成果物を保護者の皆様に見ていただきましたが、今年度については、感染症防止の観点から授業参観の実施が難しい状況です。つきましては、事後学習が終了次第、ICTを用いて成果物をご家庭から確認いただけるよう検討を進めているところです。後日、お伝えしますのでよろしくお願いいたします。



ハマ弁デーについて

11月25日(水)に無料ハマ弁試食会、ハマ弁デーを行います。この日に限り、全生徒が無料でハマ弁を試食することができます。ハマ弁登録をしていないご家庭にも提供されます。

令和3年度のハマ弁給食化に先立って、全校生徒が同じハマ弁を食べる経験を、次年度へつなげていきたいと考えています。アレルギー等心配な方はご相談ください。後日申込書を配布します。

ハマ弁デー当日のメニューは、洋風スパイスからあげ、青のりポテト、ひじきサラダ、小松菜のお浸し、切り干し大根と長ネギのみそ汁を予定しています。お箸やスプーンは持参となります。よろしくお願いいたします。

副校長 田中光弘